

令和6年

健康福祉委員会

6月25日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和6年6月25日

午後1時14分 開会

午後1時46分 閉会

1. 出席委員

委員長	ふじえ 真理子	副委員長	青木 けんじ
委員	浅井 たかお	委員	三浦 桂司
委員	一色 美智子	委員	堀内 ちほ
議長	毛 受明宏		

2. 欠席委員

委員 近藤 ひろひで

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健治	議事課長	深草 広治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎二	庶務担当係長	福田 悦子

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
健康福祉部長	中村 泰正	地域福祉課長	小野寺 良夫
健康推進課長	川原 静恵		

5. 傍聴議員

鈴木 智和	こんどう のぶお	いとう ひろし	服部 龍一
武谷 としお	郷右近 修	林 ゆきひろ	鵜飼 貞雄
月岡 修一	清水 義昭		

6. 傍聴者

1名

午後1時14分開会

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

なお、近藤ひろひで委員より本日欠席の連絡がありましたので、御報告いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本会議休憩中に健康福祉委員会を開催いただきまして、ありがとうございます。

本健康福祉委員会に付託されました案件は、令和6年度豊明市一般会計補正予算（第3号）、1議案でございます。慎重に審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

議長。

○議長（毛受明宏議員） 皆様、お疲れさまです。

健康福祉委員会は、議案50号の一般会計補正予算第3号の審査になります。よろしくお願いたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示

を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第50号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第3号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） 先ほど、議場におきまして、中学3年生の実績、接種の実績ということで、令和4年度218件、令和5年度207件と回答しましたが、この数字はインフルのほうの実績となりますので、コロナにつきましては、ちょっとこの集計値が手元に資料がございませんので、正確な数字は、ちょっと今現在、お答えできませんので、そのことをちょっと改めて訂正させていただきたいと思っております。お願いいたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） それでは、説明、お願いします。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 議案第50号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第3号）に係る本委員会所管分のうち、地域福祉課所管分を御説明いたします。

このたびの補正につきましては、補正予算（第1号）で計上した対象世帯について、電算システムにより対象世帯数等を改めて抽出した結果、計上した予算に不足が生じることが判明したことから、追加の補正予算を編成しようとするものであります。

それでは、歳出予算を御説明してまいります。

補正予算書は、6ページ、7ページをお開きください。

7ページ中段、1 扶助事業の説明欄記載の通信運搬費、手数料は、このたびの低所得者世帯向けの給付金の支給に係る案内通知のための郵便料、口座振込手数料の増額分となります。

次の非課税世帯等臨時特別給付金給付事業委託料は、給付金を交付するための事務を委託により実施するための窓口業務に要する経費となります。

次の非課税世帯等臨時特別給付金は、国の方針に基づき実施する低所得者世帯向けの給付金を支給するための増額分の経費となります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） それでは、健康推進課所管分につきまして、初めに、歳出で御説明いたしますので、補正予算書の6、7ページを御覧ください。

4款1項3目2 成人予防接種事業1億5,443万8,000円につきましては、新型コロナウイルスについて、特例臨時接種から定期接種への移行に伴い、接種費用について計上する

ものです。

主な内容につきましては、説明欄を御覧ください。

予防接種委託料及び予防接種等費用助成金は、定期接種対象者は2,000円、任意接種対象者のうち、特例臨時接種時の基礎疾患を有する人と中学3年生については5,000円の自己負担で接種できるよう、予算をそれぞれ計上しております。

続きまして、歳入を御説明いたします。

4ページ、5ページを御覧ください。

20款5項3目5 雑入、説明欄、新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金8,881万円は、先ほど歳出で御説明いたしましたうち、定期接種者について、1件当たり8,300円、国から基金管理団体を通じて助成されるものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 予算書7ページの4款 衛生費の最下段の成人予防接種について。

新型コロナ接種について、ちょっと制度としてちょっと確認したいんですけども、自己負担額について厚労省は7,000円を限度とするとしていますが、定期接種のうち、定期接種の7,000円のうち、5,000円を助成して2,000円とする、任意接種が1万5,000円のうち、1万を助成して5,000円とする、それを補正する予算ということでもいいですか。

それと、定期接種と任意接種の違いを、ちょっと分かりやすく説明していただきたいと思えます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 積算の根拠については、委員のおっしゃるとおりです。

定期と任意接種の説明なのですが、定期接種は、高齢者のインフルエンザ、こちらも定期接種になりますが、同じスキームになっております。基本的には、条件がない65歳以上の方が、まず、1つ目。2つ目としましては、60から64歳の方で、いわゆる心臓だとか呼吸器とか内臓の疾患をお持ちの方で、身体障害者手帳1級程度の障がいがあるような日常生活に極度な制限がある方を対象とした方も定期接種となっております。

それ以外の方は、全て任意接種という形になっていきます。

そのうち、市が補助をするのが、中学3年生と特例臨時接種時代のときの基礎疾患を有

するという方が今回の任意接種の対象者となっております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 65歳以上は定期接種で、条件なしで2,000円で打てるということで、私の場合、ここでいえば、私は2,000円で打てる。

ちょっと名前出して申し訳ない、青木委員と一色委員は、病気がなかったら1万5,300円ですか、で必要、打てるということですか。

内臓疾患が、もし、この60から64までで内臓疾患などのある議員は……。議員で言うて……。ある人は、5,000円でいいという意味ですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 確認ですね、お願いします。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） ありがとうございます。

繰り返しになりますが、例えば、60から64歳の方で元気な方は、このたびの助成の対象外ですので、いわゆる1万5,000円程度の自己負担が生じるという形になります。その中で重い障がいがある方については、定期接種となりますので、2,000円。さらに、例えば、高血圧だとかBMIが高い方につきまして、また、医師が必要と認める方は、任意接種の助成の範囲内になりますので、このスキームでいいますと、5,000円で接種ができるというふうになっております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 制度で、今の60から64歳で、定期ですね。定期じゃない……。定期だな。ここを重度で日常生活が困難で障がい者の1級程度だと、65歳と同じ扱いで、2,000円で打てるということですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） おっしゃるとおりです。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 59歳未満は、内臓疾患などがある場合は5,000円で打てる場合があるが、2,000円で打てるということはないんですね。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 委員のおっしゃるとおりです。間違いありません。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 中学3年生というのは、本来は任意接種で1万5,300円かかるんですが、市の助成があって、特例で5,000円で打てるという理解でよろしいですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 委員のおっしゃるとおり、高校受験を控えておる大切な時期だということで、インフルエンザと同様に助成をするものです。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 大体、制度は分かりました。

全額、国庫で来ないからちょっと分かりづらい部分があるんですけど、6月補正のありましたというのを頂いたんですけども、事前に。ここで説明を受けたんですけど、衛生費で新型コロナワクチンの接種の金額ですけれども、国からの補助、市独自に独自の補助金の費用が入っていて、ちょっと数字的に分かりづらい、数字がちょっとうまく合わない部分がありますけれども、65歳以上、また、日常生活が不可能な障がい者の1級程度の方は、2,000円でいいんですね。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） そのとおりです。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員、よろしいですか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 中学3年生に対する補助金とかその積算の人数はちょっと本会議で聞かれたんで、コロナワクチンの接種というのは、今年ですか、4月から有料化されて、ワクチン接種、受けることができるようになりますけれども、打てるワクチンというのは、ファイザーとモデルナか、第一三共などでいいのかお聞きいたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ワクチンの種類ですね。

（種類の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） ワクチンにつきましては、流行などを見ながらということで、国のほうで株が一旦は決まっております。その株を、これから開発だとか薬事承認を経たところのメーカーですので、今、幾つか挙げたところとかももちろん含まれますし、

それ以外もあるかもしれません。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 これ、歳入の総額が8,881万1,000円の計算ですけれども、全額補助ではない補助額だと思うんですけども、積算基準というのは、国から1本当たり8,300円、来ますよね。ここに1万700人分だと聞いたんですけども、今回、ワクチンは、1万5,300円から、これ、8,300円、国の補助ですね、引くと7,000円になります。7,000円から、自己負担の2,000円を引くと、5,000円と。市は、5,000円の財源負担、掛ける、この1万700人。5,350万という数字になると思いますが、ちょっとここら辺のところは、よく分からない部分があります。任意接種では、国からの補助が8,300だけでないと思うんですけども、1万5,300円から5,000円引くと1万300円になるということでもいいのかと、生活保護の人ののは、この2,000円かかるのか、かからないのか、お願いいたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

（分かりました、ちょっと質問の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 市の一般財源のところなんですけども、今、委員のおっしゃったとおり、定期の部分は1万700人に、歳入とかが入ってきますので、5,000円が市の負担になります。その金額が5,300万ほどですね。さらに、任意の方が1,150人、掛ける、1万300円なので、その金額合わせた金額が6,500万円程度。

生保の方につきましては、自己負担は無料で受けることができます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 生保の人は、今、何人ぐらいを積算しておられます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） インフルエンザと同様に90人程度を見込んで今回は積算で計上させていただいております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

関連ですかね。

（関連関連の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 全部、ここでやる。

基礎疾患、60から64の基礎疾患というのは、自己申告で言うのか、証明は、どのように取ればいいのか、かかりつけ医などの証明なんか要るのかどうか、お願いします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 詳細については、これから詰めていきますが、例えば、予診票の中に自己診断、自己の病気があるということで記載していただいて、あとは、医師が必要と認めてる方につきましては補助をさせていただく予定をしております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。いいですか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 補正予算書の7ページの下段のところの衛生費の手数料の2万8,000円、これですけど、どのような理由で、どこに支払う手数料でしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらは、国保連合会の広域予防接種の請求に係る事務手数料として計上しておりまして、51円、掛ける、535件分を計上しております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 市内でコロナワクチンの接種による死者は出ていないでしょうか。

また、副反応による後遺症がある方や重篤患者は、どれぐらいいますか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 1つ目の質問のコロナワクチンによる死亡数というのは、今、手持ちだとかそういった統計は取っておりませんので分かりませんが、予防接種の後に副反応ということで相談に、今、把握している件数としては13件ございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません。決算のときに、5件の相談というか後遺症が残ってるっ

てことで御回答いただいたんですけど、その方が、ここ、含まれてますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 含まれております。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予防接種の健康被害救済制度があるということで課長からお伺いしたんですけど、この手続を取ったのは、これまで何件ぐらいありますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員に申し上げます。本会議のほうで相談件数13人、そのうち、申請者は8件という答弁がありました。

○浅井たかお委員 分かりました。すみません。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 質問があれば続けてください。

○浅井たかお委員 じゃ、中学生の接種率は、人数は、お聞き……。これはインフルエンザでしたね……。

副反応、中学生の接種による副反応の相談件数というのは、あったでしょうか。どれぐらいあったでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 先ほどの13件の中には含まれておりません。ありません。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 このワクチン接種してから被害が認められるまで、どれくらいの時間がかかるのでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁できますか。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 現時点で国のほうに審査を提出しているのは、5件のうち、2件が決定通知ということで出ておりますので、2年以上ぐらいはかかっているという状況です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ありませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） この際、議案第50号 令和6年度豊明市一般会

計補正予算（第3号）についてのうち、本委員会所管部分について、委員として質疑をしたいので、暫時副委員長と交代いたします。

○健康福祉副委員長（青木けんじ議員） それでは、暫時委員長の職務を行いますので、よろしくお願いいたします。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

ふじえ委員長。

○ふじえ真理子委員 すみません、1点だけ確認をさせてください。

この今回のこの新型コロナワクチンの定期接種、任意接種のその委託料云々の補正が出てから、いろいろ新型コロナのいろんな副反応だとか、いろんな調べたんです。

厚労省のほうが今年の1月にワクチンの副反応分科会資料ということで、接種後、接種した後の副反応疑いの報告が3万6,926件、また、接種後の死亡の疑いの報告が2,168件という物すごい数字だなというふうに自分は受け、感じたんです。

もう一個、先ほど、委員会の中で出てきた予防接種健康被害救済制度っていう国の制度があって、その認定者数でも、従来型のワクチン、いろんなポリオだとかいろんなインフルエンザとかあるその全ワクチン、過去45年分のこの被害者救済制度で認定された死亡認定数が151人なんですけど、このたった3年間の新型コロナワクチンで、この被害救済認定者、死亡認定者数が523人というふうで、すごく多いなというふうな印象を受けたんです。

質問なんですけれども、先ほど、市内の後遺症、副反応相談件数をお聞きしました。市のホームページを見ると、同じように、その新型コロナワクチン接種に当たって、効果と副反応のリスク、両方を理解して判断して受けてくださいという文言が、それ、大事なことだと思いますが、データというのかな、その古い、今までとずっと同じような感じがしているんです。

質問は、その市民の方がその接種を考える際に必要な判断材料となる副反応についてのその実態が、例えば国の厚生科学審議会の予防接種の、さっきちょっと触れたワクチン分科会副反応検討部会にも報告した事例とかあるんです。そういった最新のものを市のホームページのほうにもきちっとその判断材料として載せていく考え、必要性は、どのように考えていますでしょうか。

○健康福祉副委員長（青木けんじ議員） 答弁をお願いします。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 特例臨時接種から定期接種のほうに移行しております。定期接種になりますと努力義務というものが、もともと65歳以上の方は努力義務が特例臨時のときはあったんですけども、それもなくなっております。勸奨につきましても、勸奨

は市町村の責任においてするということがなっておりましたけども、定期接種になると、その勧奨のことも必要なくなるという形になりますので、定期接種になったということのともとの法的な位置づけはもちろん載せさせていただいていきたいと思っておりますし、あと、おっしゃられたとおり、ワクチンには比較的よく起こる副反応もありますし、まれに、極めてまれではありますが、そういった副反応も避けられないということで救済制度もありますので、厚生労働省のホームページだとかも考えながら、ワクチンの有効性、安全性、さらに、副反応のことにつきましても、また載せて掲載のほうは考えていきたいと思っておりますので、以上です。

○健康福祉副委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

委員長は、ないですか。

（進行の声あり）

○健康福祉副委員長（青木けんじ議員） では、委員長の質疑は終わりましたので、委員長席を委員長と交代いたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかに質疑がある方、ありますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 民生費について御質問いたします。

（ページはの声あり）

○浅井たかお委員 ページは7ページですね、7ページ。

最初、あらましで見たので、ちょっと番号が打ってあるんで、ちょっと説明がしにくいんですけど、非課税世帯の非課税世帯等臨時特別給付金給付事業委託料の、これは、301万2,000円は窓口委託とありますけれども、この3月の補正予算ではなかったんですけど、これはどのような内容でしょうか。

それから、これは、別室での窓口業務でしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 2点ですね。

答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 対象世帯数が当初より大きく増加をしているということがありましたものですから、給付金交付のための市民等の問合せに対応するための電話対応、あるいは、申請書の受付、審査業務、給付に係るデータ処理など、本業務を迅速かつ円滑に進めるための経費として窓口業務委託を予算計上させていただいたものであります。

また、2つ目の御質問については、別室での対応をさせていただこうというところで考

えているところであります。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 この委託ですけど、いつからいつまでの委託でしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この予算を御承認いただきましたならば、6月から7月の2か月を予定しているところであります。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、この窓口業務は、何名で実施されますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 3名のお方の派遣をいただく予定であります。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 この委託先は、どのように決められたのでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これまでの実績事業者も勘案しながら、これから業者選定のための事務を進めてまいりたいと考えております。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 議案第50号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第3号）について、賛成の立場で討論いたします。

市が補助を出すということは推奨するということになります。ワクチン接種を行ったことによる副反応などのリスクと救済制度についてしっかり周知していただくようお願いをして、賛成の討論といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかに討論のある方、いますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 1点だけ。本会議で討論しませんので。

60歳から64歳の人で、健常の人と、中度の持病を持った人と、重度の持病を持った人の負担金額とか理解しづらい部分がありますので、周知方法については、文字だけではなく、表などにしていただいて、健常者の人は補助はありませんよとか、基礎疾患なんかの持病を持った人は2,000円、5,000円で打てますよと分かりやすい表記をちょっとお願いして、このコロナについてはお願いします。

また、非課税世帯の特別給付金は、税が課税されない世帯というのは低所得の世帯であって、光熱水費……、光熱費か、この8月から物価高騰として、3か月程度、国が補助するというような報道が出ておりますけれども、日常生活に必要不可欠な食料品等の、これ、高騰は止まっておりませんので、全体見ると一部しか賃金上がっておらず、賃金上がらず物価だけが上がってる状況に陥りかけておりますので、厳しい生活を強いられてる世帯に対して速やかに行き渡るようお願いして、賛成といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど浅井委員からの御質問……。

（討論の最中の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ちょっと暫時休憩といたします。

午後1時44分休憩

午後1時45分再開

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を続けます。

討論の途中ですので、討論が終結した後にお願いします。すみませんでした。

ほかに討論のある方。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論は終結します。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど、浅井委員の御質問の中で委託の期間の御質問がありました。その中で、私、6月、7月と発言をいたしました。正しくは、7月、8月の2か月間でございますので、訂正をいただきたくお願い申し上げます。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） それでは、先ほど討論終結したので、採決に入ります。

議案第50号のうち、本委員会所管部分については原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第50号のうち、本委員会所管部分については全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午後1時46分閉会